



職員は町内在住を

答**個別に面談**

町外から通勤する職員には我慢ができない

問

若藤敏久

「職員は町内に住所を置き、町発展のために尽力するよう強く要望する」という議会決議をあざ笑うかのように、憲法22条（居住の自由）を盾に、その後も町外から通勤する職員は増え続けている。

26人が町外通勤**答**

町長

町外から通勤する職員は42人、結婚した女性職員や専門職員は16人で、26人が町外通勤となっている。その内10人は町内に

に、16人は町外に住所を置いている。

道徳のかけらもない

問

若藤

決議当時、前町長は「職員のモラルの問題」と答弁したが、社会に対し自分の立場をわきまえて行動しなければならぬ役場職員が、生活拠点を町外に置き、町民の税金を町外に納め、若者定住や振興策を掲げて町民の理解が得られると思うか。また人口が激減している現況の判断もできず、道徳のかけらもない職員に、町民のお世話ができると思っているのか。

何人かは帰ってきた

答

町長

職員は、地域に対する思いを重く受け止め、町

内に住むことを重視して採用している。

町民の信頼を得ることが大事で、対象職員とは個別に面談し、何人かは町に帰ってもらった。

今後も幹部会や機会を通じて、話をして行く。

辞めていただきたい

問

若藤

町外通勤の職員が26人、これは異常な現象だ。彼等に町を愛する気持ちが残っているならば、帰って来れるはずだ。

職員には町に必要な職員、どうしても良い職員、必要のない職員の3通りがある。必要な職員は、家族が町に住み、骨を埋める覚悟で頑張っている職員。必要のないのは、町外通勤の職員で、町の足かせとなっており辞めていただきたい。

代わりに子どもが2、3人いる方を職員として雇用すれば、学校問題（統廃合）も解決する。こ

の際、思い切った荒技も必要ではないか。

信頼を得る行政を目指す

答

町長

町民感情は十分身に染みている。

職員のモラルと共に、町にとって必要な職員と成るべく、信頼を得る行政を目指し、今後も粘り強く話を進めて行く。



寺村橋

本庁前

コ ラ ム



名野川小の思い出

一つ目は、他の学校と比べ人数は少ないですが、一年生から六年生まで、み

ろいろな行事がありました。

私はこんな楽しい名野川小がなくな

ることはとても残念でした。

私が名野川小の生徒で良かったと思
ったことは二つあります。

んな仲が良いということです。

二つめは、学校行事が多いとい
うことです。その中でもスキー遠足が一番
しかったです。

他にも、もみじ祭りや

子どもバザー、いきいき

わくわく体験活動などい

町有車の車検は

答

バランスを考慮

問

若 藤

車検は町内業者に分散
して発注しているとの事
だが、町外に発注したこ
とはないか。

答

岡崎総務課長

仁淀、池川支所は従来
どおりバランスを考慮し、
偏らない発注をしている。
本庁関係は多少偏りも
見られるが、交付金事業
などで購入している車両
でバランスをとる。

問

若 藤

無料点検以外に町外業
者に発注したことはない。

業者は1台の車検に、
生活が掛かっている。

町有バス、コミュニティ
バス、職員の車、燃料
も町内業者に分散し、利
用するように指導を願う。

答

町 長

全幹部が参集してお
り、質問の趣旨を理解し
て職員に指導する。

コ ラ ム



名野川小の思い出

ぼくは名野川小学校がなくなること
が、とても残念です。

行事では、スキー遠足やいきわ
くわく体験活動など、楽しい行事ばかり
です。

休み時間でも、さそい合って楽しく

遊んでいます。スパー

ドッチやサッカーなどを

主になります。

下級生から上級生まで

楽しく遊んでいます。

こんな仲よく笑顔の多い学校がなく
なることがとても残念です。

名野川小は全校児童は少ないけど、
みんな仲よく笑顔の多い学校です。

六年 谷口 魁



名野川小 子供バザー

フードプランより給食センターに食材を納入しているが、どれくらい納入しているか。

問

藤野格昭



学校給食100%地元食材を

答

努力をする

年に一度でも学校給食まるごと地産化はできないか。

答

町長

昨年6月から1月まで全体量の1%くらいである。

24年度は中学生を対象に、地元食材を使った給食でマナーと食育学習を行う計画。

答

教育長

全てが揃うのは難しいが、努力をする。

問

藤野

生産者の協力を得、年に一度でも地元食材をほぼ100%使い、生産者を招き生徒と一緒に食べてみては。

答

町長

勉強し取り組んでいきたい。

自主防災

答

指導徹底

問

藤野

昨年発生した東日本大震災、国民的に防災意識の高まりがある。
本町の自主防災組織進捗率はどれくらいか。
自主防災で購入した器械の点検はどのように行われているのか。

答

町長

総世帯数は3千349世帯、その内2千509世帯が加入、74.9%の進捗率である。

地域で点検を兼ねて頻繁に利用するようお願いしている。

点検や管理など今後指導していく。

問

藤野

高齢者の多い地域もある。文章などで説明をしては。

答

町長

地域地域に指導徹底をする。

再生エネルギー

答 勉強していく**問**

藤野

国は、農山村の資源を生かした発電施設の導入を促し、地域の取り組みを支援するようだ。
発電には、太陽光、風力、水力などがあるが、町の取り組みは。

答

町長

小水力発電は本町は適地であり、高知県小水力

利用推進協議会に加入し、活用を検討している。

問

藤野

15kwの小さな水力発電は水車でできない、耕作放棄地を活用した太陽光発電も考えては。

答

町長

自然資源を上手く活用しながら、可能性があるものには民間活力も含め太陽光、水力、全部含めて勉強していく。



ふたば保育所の太陽光発電

昨年末に町P連が取ったアンケートに対する町長、教育長の考えは。

問

藤 野

中 学 校 再 編

答

2校で切磋琢磨

答

町 長

全体には、2校案が多い。中心部で1校の中には、新築校舎を希望する方が多い。今後の参考にしたい。

答

教 育 長

2校案の意見が多かったと捉えている。

問

藤 野

一番大切なのは、子ども達である。今後、吾川地区に学校が無くなる可能性も出てきたが。

答

町 長

地域の均衡ある発展が重要である。全員の賛成した再編は難しい。

答

教 育 長

2校体制にすると、北と南に学年、クラスが2つでき切磋琢磨できる。

問

野村安夫

県は24年度から集落活動センターを立ち上げるが、町は長者地区に建設するとしている。

集落活動センター

答

状況を見検討

**答**

町 長

その根拠は、また町長の中山間活性化対策の独自の案を具体的に説明を。

長者のだんだんクラブが中心となり、地域の活動拠点となる施設を建築。農家レストランや加工品の製造、販売、地域の子どもや高齢者の集いの場や見守りの仕組み作りを行い、恒例のイベント祭りや、耕作放棄地解消に取り組む。

長者地域への交流人口の拡大と地域の活性化につなげる計画で、過疎化、高齢化する中山間を維持する取り組みの一つとして、積極的に活用する。

問

野 村

集落活動センターは町内で何力所設置する予定か。

答

町 長

何力所という予定は立てていないが、状況を見ながら検討する。

収集ネットに問題

答

8割を補助

問

野 村

ある地区で可燃ゴミ袋がクラスに破られ、道路に散在し環境的にも衛生的にも非常に悪く、ゴミを守る収集ネットに問題があると思われるが。

答

池川健康福祉課長

8割を町が補助するようになっていく。

問

野 村

年金暮らしの高齢者に負担をしいるのは厳しいが、全額補助にならないか。

答

門田池川健康福祉課長

23年度制定した補助要綱を利用し、今後の鳥獣対策に役立てていただきたい。



ネットに包まれたゴミ